

おれんじニュース

No287

2014年2月号



長崎の2月はランタンフェスティバル 中須賀氏 提供

今月号の記事 多良岳納山登山、御館山参拝祈願登山、多良岳新年祈願登山、祐徳稻荷参詣

★山行の一步は集会参加から★

	2014年2月	2014年3月	時間	場所
運営委員会	12日(水)	12日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
全体集会	26日(水)	26日(水)		



冬は自然の芸術



山茶花



雪の眼鏡橋



平成新山と霧氷(普賢岳)



上泉水山の霧氷



朝日にきらめく久住の霧氷



久住山頂 孤高の人



上福根山の霧氷(岩宇土山から)



福万山の霧氷の原



英彦山の霧氷

2013/12/28 御館山 多良岳納山



四王寺の滝(英彦山)



2014 / 2月の山行

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり
月/日(曜)	2/2(日)	2/22(土)	2/25(火)	2/28(金)
山名(行事)	犬ヶ岳 (1130.8m)	孔大寺(499m) 湯川山(471m)	武雄御船山(207m) &牛尾梅林	三角岳 (405.9m)
地 図	下河内・伊良原 耶馬溪西部・英彦山	吉木	武雄	三角
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:20	諫早駅裏 6:50 西諫早駅 7:00
難 易 度	初級&中級	中級	初級	初級
帰着時間	20:00	20:00	16:10	19:00
歩行時間	4.0h or 5.5h	4.0h	2.5h	3.0h
交通手段	マイクバス	マイクバス	マイカー	マイクバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	ト仙の郷	?	無し	有り
参加費	5,000円	5,000円	1,500円	5000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	佐原	田中	中里	林
備 考	求菩提資料館から登ります。12月の続き山行です。健脚班は野峠より縦走。	宗像四塚連峰の最高峰・展望も最高です。	その形で名前がついたと言う船の形をした岩山です。	天草諸島の展望台宇土半島の西端にあり海を眺めるのに最高の場所です。
感想文提出	2/12	3/2	3/5	3/8

県連主催・伯耆大山登山案内

出発 2/7(金) 20:00 長崎市民会館横出発

2/8(土) 下山キャンプ場着 テント設営・雪上訓練・スノーハイキング

2/9(日) 主稜縦走・三鉢峰登山・弥山登山 17時～交流会

2/10(月) 弥山尾根登攀 ツェルト搬送・雪崩埋没体験・雪洞作り 帰長崎

2/11(火) 早朝6:00頃諫早着予定

まだ、参加受付可能です。1/22(水)にオレンジ参加者に説明会をします。

参加費21,000円位(主に交通費)

宿泊は2/8 1泊2食で8,400円

2/9 1泊2食で4,500円位

申込みは鎗水さんまで



スノーシューでネイチャーウォッチング



2014 / 3月の山行

部	技術研修部	自然保護部	山行部	ひまわり
月/日(曜)	3/2(日)	3/16(日)	3/22(土)	3/28(金)
山名(行事)	仰烏帽子山 (元井谷コース)	西川内虚空蔵山 ～中里	黒河内連山 (山口)	とけん山 橘神社
地 図	頭地(熊本県)	長崎東北部・大村	小郡(山口県)	小浜(長崎県)
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	喜々津駅 8:30	諫早駅裏 6:00 西諫早駅 6:10	県営バスターミナル
難 易 度	中級	初級	初級、中級	初級
帰着時間	20:00	14:34	20:00	17:00
歩行時間	4.5h	3.0h	3.0～4.0h	2.0h
交通手段	マイクロバス	JR&徒歩	マイクロバス	島鉄バス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	なし	なし	有り	有り
参加費	5000円	交通費のみ	5000円	1000円
申込期限	定員になり次第	随時	定員になり次第	随時
集 約	佐原	中里	田中	林
備 考	冬の寒さに耐えて開いた、黄金の福寿草に出会えます。	牡蠣焼きを食し、昼食に今話題のチャンポンを食べると温泉はノバイだって！	四季感豊かで、低山ながら山口県屈指の展望をほこるルートを歩く。	初春の中、桜三昧。少し汗をかいた後は名湯でゆったり癒す。
感想文提出	3/10	3/23	3/29	4/5

総合セルフレスキュー訓練

セルフレスキューは事故を起こさないための啓蒙、また起こした場合、迅速に救助活動ができるように訓練をしておくものです。セルフレスキューの心得があれば慎重になると共に、心に余裕が出来冷静な判断が出来るようになります。

集合：2/1(土)、3/29(土) 9:30 JR 西諫早駅集合
基本となるロープワーク、ハーネスの作り方、ロープによる懸垂下降・上昇、引上げ方法、各種救助、搬出方法、新しい登攀器具の使用法などを繰り返し行います。



2013年12月 / 2014年1月の山行



2013年12月28日(土) 多良岳納山登山

【参加者】川原、松岡、鎗水、田中(静)、林(和)、高森 (6名)

【行程】西諫早駅 8:30～黒木登山口 10:00～西野越 11:21～金泉寺 11:33～
多良岳 12:19～金泉寺 13:40～黒木登山口 14:50～西諫早駅着 16:00

【感想1】

2013年も残り3日という28日、主婦ではない？女性3人と奥様に悪いと思いつながらの？男性3人の計6人で多良岳へ登る為黒木登山口へ～そこで元会員のS氏、Kさんと会い一緒にスタートしました。何も考えずに参加した私、まさか残雪があったり道が凍っているなんて思いもしませんでした。だから西野越辺りでアイゼンなしではとても無理・・・歩けないと思いました。そしたらS氏が1つ貸して下さいました。その時「自分は11月



から3月までの山行は必ずアイゼンを持参する」と言われた。本当に無知な私です。4本爪のアイゼンを付けただけで安心して歩けた。金泉寺で少し休み、再び歩き・・・転ばないように滑らないよう注意しながらの歩きは時間もかかるし疲れます。多良岳山頂に着いた後ゆっくりする事もなく、下りへかかった。金泉寺に戻り昼食をとった。先客も7,8人、、、賑やかな小屋で暖をとりながら食べたラーメン美味しかった・・・下りも慎重に歩き残雪がない所に来てアイゼンを外した時は心身ともホッとしました。午後4時頃 西諫早に着きました。



今回は色々勉強になりました。自然の厳しさを身にしみて感じました。

ここからは今年を振り返って、、、今年、私としては結構山行参加したと思います。オレンジのお陰で初めての山にも出会えました、8月の白馬、不帰ノ剣、唐松岳はきつかった分いい思い出になりました。2014年も健康に留意して沢山の山行に参加したいと思います。

(高森 記)

【感想 2】

My Taradake My Steigeisen And Me(多良岳とアイゼン)

50 年程前の西部劇「リオ・ブラボー」の主題歌「My Rifle My Pony And Me」(ライフルと愛馬)から題名をもじってみました。

確か自分が中学一年の正月興行の映画だったと思います。映画館の正面を飾るデカイ看板が妙に生々しく記憶に残っています。脇役のディーン・マーティンが酒好きで女好きのシケた中年のカウボーイ役をこなして、主題歌「リオ・ブラボー」と、挿入歌「ライフルと愛馬」を歌っていましたね。音楽はディミトリー・ティオムキン。当時のハリウッド映画の音楽はこの人

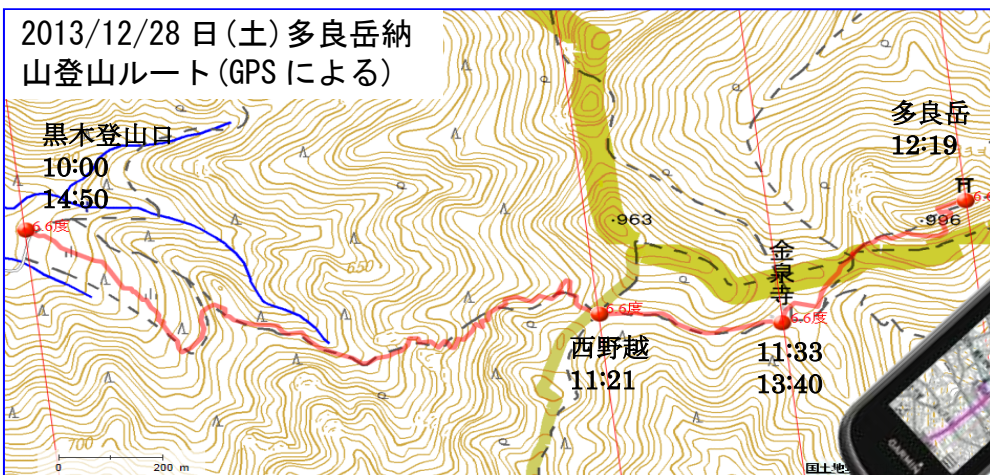


ともう一人ヴィクターヤング御大で殆ど仕切っていました。こんな事を書いていると懐かしい故淀川長治さんを思い浮かべますが、名著「山を歩こう」の長治さんとは違いますから、念の為。



さて当日は、黒木からのルートで金泉寺→多良岳を目指しました。天気予報では3回連続の雪だるまマークで積雪を期待したのですが、穏やかな天候になってアイゼン歩行の実地練習が肩透かしかなと思われたのですが、八丁谷を越

えた辺りから雪が残っていて、一部はアイスバーン状態で絶好のお膳立てとなっていました。八丁谷を越え始めた頃から雪が目立ち始め急な登りになるにつれて、足元が危うくなりだしましたが、川原さんの「まだこの程度なら、十分キックでのりきれますよ」という言葉に励まされ、金泉寺迄は辿り着きましたが、ここでアイゼンを装着、自分は何と13分もかかってしまいました。これでは、大山本番ではとても通用しません。切羽つまらないとなかなかやらないのが自分流ではあるのですが、ようやく、真剣にアイゼンの脱着訓練をやる気になりました。生まれて初めてヨタヨタではありますが、雪の上でアイゼン歩行を体験することが出来ました。去年大山行き直前、アタフタ、アイゼンとピッケルを購入してから一年余り。持っているだけでは何の意味もなく、



使いこなす事が出来なければ駄目だと痛感した次第です

やっぱり、本物の雪の上でのライブな体験はいいなとつくづく思います。クラシック、ロック、ジャズ、落語鑑賞、はたまたスポーツ観戦もみんなみんな「生」が一番。ついで



に、スラッと気持ちよく伸びた長くて太い「生」足も…… (しばし、妄想)……テレビで見る「グレートサミッツ」より自分の足での多良岳縦走という所でしょうか。これからの山行でも雪に遭遇できればいいなと思う今日この頃です。 (松岡 記)

2014年1月1日(水) 御館山参拝祈願登山

【参加者】兵庫、松岡、久保(元)、福岡、鎗水(家族2)、野中、下釜、田中(静)、本田(孫と愛犬) 山下(家族1)、林(和)(家族1)、その他(米田、樋口、いろいろ)

【感想1】

御館山で参拝祈願をするようになって今年で3回目かな?温かくて気持ちの良い新年を迎える事が出来た。上の展望台には今年は高校生位の若者が多くここでの初日の出を拝むのがブームになりつつある事を実感した。

オレンジのメンバーもだんだん人数が増えて来て日の出を拝みに来たのか、その後の酒宴が目的なのかわからない様な賑やかさである。

今年は天気予報では初日の出は拝めないように言っていたが直前に変わったのだろうか穏やかないい天気で雲間に覗けるかも……。兵庫さんの予報では7時半。空は赤くなったがお日様は見えぬ。断念して東屋の下で酒宴に加わる。今年も賑やかである。下釜ちゃんのお煮しめはいつも人気。本田さん持参の地酒は辛口ですぐ酔いが回りそう。

多良見から来た骨接ぎさんは寝坊してタクシーで来たらしい。そのわりにはビールその他アルコール等は完ぺきな持参であった。

そうこうしてるうちに空の中にきれいなお日様が顔を出して来て皆で又展望台に上がってカメラに納めた。正確には大半の人はそのまま酒宴に興じていた。(笑い)



今年は鎗水さんのお嬢さんがアメリカのお友達を連れて来られて、日本文化を感じる為に参加されていたけどこんな感じでもよかったのかなあ?……。それから兵庫さんの奥様の手作りの角煮をバーナーで温めて食べさせてもらった。いつもこの角煮は絶品である。美味しかった!!!。

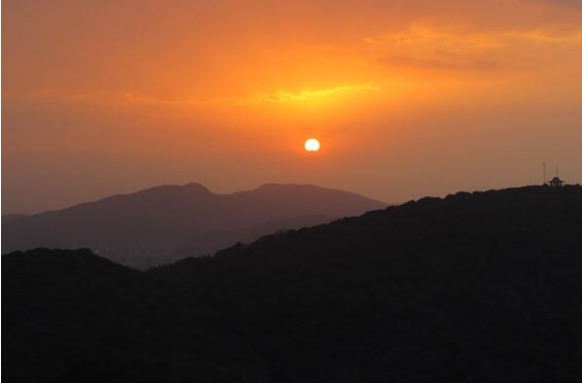
しばらく酒宴は続いたが三々五々に帰宅して神社で少し気前のいいお賽銭を入れて今年の山行の無事を祈って帰宅についた。

(山下 記)

【感想2】

目覚まし時計の音で、目を覚ます、6時15分に自宅を出る。西諫中学校の裏を通り、御館山へ。途中で怪しげな人と遭遇、電柱の横に立って何をして居るのか、後姿が会員の松岡さんに似ているが、今の世の中物騒なので、だまって行こうかと思ったが、勇気を出して声をかけて見ると、松岡さんでした。

下釜さんの家により、煮物を預かる。山道は足元が悪いし、暗いので、注意をして登る。



展望台には多くの人で賑わっていましたが、空が明るくなったが出てこない、今年も見ら

れないのかと思った時、雲の中からまん丸で大きな太陽が顔を出してくれました、感動的でした。下のベンチに移動して、持ちよったアルコールやつまみで、恒例の親睦会。

いつも明るい野中さん中心に話で盛り上がり、元日から楽しい時間を過ごす事が出来ました。

(福岡 記)

2014年1月12日(日) 多良岳新年祈願登山

【参加者】川原、岩田、山下、下釜、田中(静)、高森、松岡、中里、久保(元)、久保(陽)、野中、柳迫、林(和) 13名

【感想】

「オレンジハイキングクラブは、多良岳に始まり、多良岳に終わる」とのこと。安全登山を祈願し今年も気持ちを新たにやや緊張の中参加する。昨年末の納山にも同じコースで参加しアイスパーン状態でアイゼン装着に四苦八苦。今回は前に比べ気温も低く曇り空、アイゼン装着の必要があっても、前回と同じコースということで気持ちがいくらか楽であった。「黒木登山口」より「八丁谷」を過ぎたころからやや急斜面のガレ場が続く。足に疲れが出てきた所で、「多良山系では、ここは、経ガ岳の次にきつところ」と魔法の言葉に救われ楽になる。それ程の所を登っている自分に自信がついたのか不思議である。そして、沢の音に癒され1メートルもあるようなツララを眺めながらいつの間か「西野越」。途中薄い木漏れ日を感じ、所々に5センチ程の霜柱の花畑を見ながら金泉寺を目指した。金泉寺でトイレ休憩の後多良岳を目指す。



所々で「滑落事故あり、死亡事故あり」等の立て札に身が引き締まる思い、それ程の所にいる自分に驚きもある、半年前の自分には考えられない。途中、お地藏様や磨崖仏を見ながら、先人に思いを馳せる魅力的な多良岳を感じながら多良岳頂上に着く。

昼食時は賑やかなこと、3月の山行の下見の段取りである。今年も楽しく山に登れそうである。皆さん今年もよろしくお願ひ致します。

(林(和) 記)

2014年1月13日(月) 祐徳稲荷神社初詣山行

【参加者】福岡、小山、兵庫、中須賀、中里、松岡、工藤、佐原、林(孝)、林田、川内、森、高森、山口、山下、下釜、他3名 (19名)

【行程】諫早駅 7:45～肥前浜 9:04～祐徳稲荷参拝 10:05～奥の院参拝 10:25～公園上口 10:40～東公園 11:15—昼食—仲見世散策—稲荷山門 13:00～肥前浜宿 13:25・蔵幸娘・峰松廻り 14:30—14:45 肥前浜駅 15:12～諫早駅着 16:25

【感想】(2014年1月13日、早朝の寒さ厳しく霜強いが快晴)

久しぶりの電車での山行。喜々津駅 7:28 発で 7:35 諫早駅着：数分の待ち合わせで当電車がそのまま鳥栖行きとなると思ってゆっくりしていた。すると電車内の雰囲気がちと変に思えて、ホームを通っていた車掌に聞くと「この電車はハウステンボス行き」ですとのこと慌ててホームに降りるがオレンジ関係者は一人もいない。



後で分ったが(本日は諫早駅前集合)7:55 発とのこと。今は 20 分も早い時刻、誰もいないのは当然。小生は適時の電車の一つ前に乗ってしまったよう。7:50 になってオレンジの面々がホームに現れ、一安心した次第。本日は昨日の「オレンジ技術研修部多良権現様初詣」に引き続く、「オレンジ自然保護部の祐徳稲荷神社初詣」だ。オレンジの参加者は 20 名に達しようとする多数で賑々しい初詣山行登山となった。

長崎本線普通電車で 1 時間すぎの 9 時すぎに肥前浜駅に着いた。駅で浜宿・鹿島市の市内案内パンフをもらい、駅前で軽くウォーミングアップを済ませ、中里リーダーの案内で浜宿の旧長崎街道を通して祐徳稲荷神社をめざした。

肥前浜宿は旧街道宿場町・現在は重要伝統的建造物保存地区だそうで、白壁の建物のある酒蔵通りをとおって約 30 分で神社の前の大通りに出、道の両脇に大きな豪壮な造りの祐徳稲荷神社と書いた大門に着き、そこからまっすぐ門前市・仲見世を通り約 30 分の 10 時すぎに祐徳稲荷神社に着いた。

祐徳稲荷神社は車の免許取得の事故防止・安全祈願とか何とかで何度か参拝したことはあるが、小生は年頭の初詣は始めてである。さすが名だたる神社だけあって朝早くから多数の参拝者だ、とくに本日は正月三が日は過ぎたが成人の日で多くの参拝者でごった返している。



それで本殿での拝願はさけて上の段で、安全無事故登山の参拝・拝願を済ませ、奥の院に向かった。小生はここも始めて上ることになった。

かなりの急な石つくりのそう広くない階段の連続で約 25 分位で奥の院に着き、またここで拝願をすませた。

奥の院すぐ下の小広場からの下方の眺めは神社への参道一部と浜宿町並みが遠望された。

下りは各自の体調・体力にしたがって、きた



道・安全な別の下り道を降り、約 15 分で本殿横に帰り着いた。

上り時には気がつかなかったが、奥の院への上り口の両側に一対の石の馬の像・左側のはメス、右側はオスがあり人だかりがしていた。例の祐徳稲荷の「招き馬」である。

参拝者の皆々は馬のあちこちを撫でていた。これが有名な招き馬像かと思われた。

今年になってかNHKだったかテレビの放映で紹介があった石の馬らしいー自分の体の不良部分

と同じ馬の部位を撫でると良くなるとの言い伝えがあるという。

小生も馬の腰と膝を撫でてた。これで腰痛と大腿部痙攣の防止にもなれば幸いだ。

そのうち皆も奥の院から降りて全員集合となったので、例の馬の件を尋ねてみるとF氏は右馬の腹、H・Y氏は左馬の頭、M氏は足とそれぞれ各自体の不安箇所と同じ馬の箇所をなでたとのこと、Ma氏に聞くと腹以外は撫でた、下腹部はまだ不自由していないので撫でなかったとのことだった。

またK女史はまだ撫でていないというので説明すると、慌てて撫でに行き右側の馬を撫でていた。だんなさんの代わりの撫で？ やはり不安なところは誰にでもあるのだろう。

10 時過ぎからは、東公園というのがあり神社全体が見渡せるとのことここにも初めて上った。神社の前の駐車場の横から登り、つつじの群落の登路を約 20 分で頂上に着いた。桜の大木や定植後 3~4 年の梅の小木、花園(菜の花採取してなたねあぶらをとるとの説明あり)があった。ここで時刻もちょうど昼飯時となり昼食を採り、下り道途中の神社の遠望の良い展望所で記念写真をして下山した。

本日の行動の最後の酒蔵通り散策は 13 時 30 分すぎからで、時刻調整に門前の商店街・仲見世のいろんな店を眺めながら時間つぶしとなった。買い物にもそう時間はかからないし皆は時間もてあまし気味で赤門まで往復した会員もいた。

小生もゆっくり店をみながら「あま酒」を飲みながらぶらぶらしていたら、門前市の手前部と赤い鳥居に近い部分の境目のところ、仲見世部の左方部に白い台座に乗った標識があり、これが祐徳神社のいわれの説明碑というのがあった。それにはそもそも当社は・・・

要約すると、佐賀藩第三代藩主鍋島直朝公の後妻の万子姫(まんこひめと表現されていた)という奥方がおられたが、この方は二人の男子を授かったが二人とも幼さないうち亡くなった。奥方はそれをはかなみ、悟りをひらいて弔うため出家して尼となり、この静寂の地・祐徳に家元で崇拝していた稲荷大神を守り神とする社を築かれ、祐徳稲荷神社と名づけられたとのこと・・・これがこの神社の起源だと記されていた。





さて時刻 13 時に全員集合となり、酒蔵通りに向け出発した。天候は気温はそう低くも無く、快晴で小春日とまでに行かないが散策にはちょうど日和である。

酒蔵の一番目は「幸姫酒造」・若い女性社員の酒しぼり方など・・・の説明を受けていよいよ試飲となった。つまみまでついでのことと嬉しいひと時だ。

大吟醸・しぼりたて・吟醸・・・と 5-6 種あったがみな美味かった。ここはまた祐徳稲荷神社に納める酒を作っているとのことで、それも銘柄は「ぼけ封じ」と

のことであった。濃度は 15 度で試飲のはじめに飲むのが良いとのこと、絞りたてのような高濃度のものを先に飲むと後に飲む酒が美味くないし、味がききにくいからとのことであった。

「ぼけなおし」はないかとの質問にご店主はぼけは遅らせられるが直せないで、無いとの返事。新酒の出来上がり時には杉の丸ぼうずを軒下にブラさげると聞いていたし見てもいたが、この店にはそれは無かった。

二番目の蔵は「峰松酒造」、ここはいわゆる酒蔵通りの 3 蔵の一つということでかなり大つくりの酒店で数多くの銘柄があり、焼酎もあった。先に入った「幸姫酒造・さちひめ」は酒蔵通りではなく別の通りだとこの店の店員の言葉・説明・どうも蔵間の競争のようなものもあるのかなとの感があった。ここでも皆サン慎重に品定めして買い込んでいる風だった。小生はここで 25 度だが生のままでも飲みやすい味の焼酎「魔界への誘い」を購入した。ここでも帰りの電車内での用途もあるかとプラのチョコを 3~4 個をポケットにもらった。

時刻も 2 時半をすぎ酒蔵通りをもと方向にもどり駅 15 時 12 分発で帰途に着く、電車は休日・成人の日ともいうこと・普通電車でもありガラガラで貸しきり状態。

長い横並びの座席に集まって、Nリーダー買い込みの「甘口」の幸姫？でしあげの酒盛・新年度役員の話などで賑わいながらの帰りとなった。

さかずきは小生がこんなこともあろうかと、ポケットに持ち込んでいた両酒蔵での試飲時にいただいていたもの 6-7 個で用が足りてよかった。本日はまことに山登りに行ったのか酒飲みに行ったのかの日となった。こういうときは忘れ物に用心が肝要だ。

皆忘れ物が無く事故も無いことを祈るばかり。

お神酒をいただくチャンスをいただいたので言うのではありませんが、初詣だけでなく登山・酒蔵通り散策と入念な偵察・計画をいただいた自然保護部の皆さんに大いに感謝です。ウィ〜

(須賀山人 記)



2014/1/1 初日の出(御館山)



2014/1/12 多良岳新年登山



2014/1/13 祐徳稻荷参詣



発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正廣
2月号の 編集責任者 及び 編集委員	鎗水律夫 福岡正廣、林孝子、下釜みつ子、林和子
発行年月日	2014.1.22
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

編集後記

オレンジパソコン教室を開いて2年、焦らず、急がず、繰り返し。さて、実践課題として「おれんじニュース2月号」を編集してみました……。

福岡委員：ニュース編集の苦勞が分った、少しは自分も役に立ちそうです

林(孝)委員：自由に出来るようになったら楽しいだろうと感じました

下釜委員：今まで担当の方が一人で編集していた苦勞が良く分りました

林(和)委員：皆で作るのが楽しかった、またこのような経験によってPC技術が向上して行くと思います